平成 22 年 第 1 回 白井市市民参加推進会議　次第

日　時：平成 22 年 6 月 3 日（木）
　　午後 1 時 30 分～4 時
場　所：白井市役所　4 階　大会議室

次　　第

１．開　　会

２．会長あいさつ

３．議　　題

１）平成 21 年度答申 「今後の取り組み」提言 に対する取り組み実績（報告）
２）平成 21 年度市民参加の実施状況に対する総合的評価（諮問内容）
３）平成 22 年度市民参加推進会議の進め方について（審議）
４）平成 21 年度市民参加の実施状況に対する総合的評価（審議）

４．閉　　会

平成 22 年度　第 1 回　市民参加推進会議資料について

2010．6．3

１．平成 21 年度答申 「今後の取り組み」提言 に対する取り組み実績(報告)

１）情報公開の一元化と参加機会の拡充

①市民の関心を高め公募委員や傍聴者を増やすため、年間の会議日程表などのポスターを作成し、各センターなどに掲示するよう努めること。

②公募委員枠を増やすための工夫をすること。

③より多くの市民が参加できるよう会議日程の工夫や、人材の育成・確保に努めること。

➡ ・平成 21 年 10 月 15 日付けで全課に通知し、取り組むよう要請

・平成 21 年 12 月広報しろい等で市民に公表

④ホームページに市民参加専用のコーナーを設け、情報の一元化を図ること。

➡ ・提言のとおりホームページ改善実施

２）実施段階への市民参加を推進するため

①職員も市民の一人として地域活動などに積極的に参加し、信頼関係を築くように努めること。

②庁内の各課間同士の協働を積極的に推進すること。

➡ ・平成 21 年 10 月 15 日付けで全課に通知し、取り組むよう要請

・平成 21 年 12 月広報しろい等で市民に公表

③協働のまちづくりへの市民参加を進めるための指針や計画を策定すること。

➡ ・平成 23 年度を目途に(仮称)市民参加・協働の推進プランを策定予定

④市民参加条例第 6 条第 1 項第 5 号の公共の用に供される大規模な施設整備については、具体的な基準がないため今後検討する必要があること。

➡ ・市民参加推進会議等において今後調査検討

２．平成２１年度市民参加の実施状況に対する総合的評価（諮問内容）

１）総合的評価に関すること。　（市民参加条例第 25 条第 2 項第 1 号）

①白井市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定事業（都市計画課）
②白井市次世代育成支援地域行動計画策定事業（児童家庭課）
③健康増進計画策定事業（健康課）
④災害時要援護者避難支援プラン策定事業（交通防災課）
⑤白井市耐震改修促進計画策定事業（都市計画課）
⑥白井市第 4 次総合計画後期基本計画策定事業（企画政策課）
⑦男女共同参画推進行動計画策定事業（企画政策課）

２）市民参加の方法の研究に関すること。　(市民参加条例第 25 条第 2 項第 2 号)

市民参加の更なる推進と住民自治の進展を資するため、現在、市では常設の住民投票条例の検討を進めているところであり、当会議において、**常設の住民投票条例**について研究願いたい。

３）市民参加条例の検証・見直しに関すること。(市民参加条例第 25 条第 2 項第 3 号)

平成 16 年 6 月の市民参加条例施行以来 6 年が過ぎ、その内容を検証し、見直しが必要かどうか審議願いたい。

３．平成 22 年度市民参加推進会議の進め方について（審議）

答申のまとめまでのタイムスケジュールについて

第１回目：6 月　3 日(木)	・諮問内容について ・平成 22 年度市民参加推進会議の進め方について ・総合的評価について
第２回目：7 月　　日(　)	・総合的評価について
第３回目：8 月　　日(　)	・常設の住民投票条例の研究について ・市民参加の条例の検証・見直しについて
第４回目：9 月　　日(　)	・平成 21 年度答申書まとめ
9 月～10 月頃 11 月頃	・市長に答申書提出 ・広報しろい等で公表

４．平成 21 年度市民参加の実施状況に対する総合的評価（審議）

別添総合的評価まとめに基づき評価願います。

事　業　名　：　白井市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定事業　（平成21年度）

総合評価点		△ 38点		× 20点		× 25点		△ 34点		× 25点		× 22点		× 18点		△ 35点		△ 40点		29点
コメント		不適格建造物を防止するために不可欠な条例だと思います。条例の制定にあたり、パブコメを実施したのは評価できるが、事前に既存の審議会等で検討したらよかったと思います。		市民参加の手法をでやって見ましたの感あり。全体的に積極さが感じられない。		評価調書が詳しくない。		対象事業の性質から、市民参加手法は限定されると考える。		見直すべき 重要案件なのに取り扱いが杜撰である。市議会としてもこんな程度の計画で議決したのは不思議である。		建築のことは建築の専門家だけがわかっていればいいという時代ではない。 もっともっと、一般市民でも理解できるような目線が求められている。		専門的になり、理解するのが難しい。		パブリックコメントの募集期間15日は適切か？ パブコメ意見なし。市民参加の他の手法を実施すべきでは。		パブリックコメント募集だけでなく他の方法も活用すべき。	
評価項目	配点	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	
実施した市民参加の方法	20	10	H21.4.15～30 意見募集	10	パブリックコメントのみで何と言っても寂しい限りである。 駅前の高層マンションの建設後に泥縄式に造られた条例のような気がする。 もっと以前に検討されているべき、条例であろう。	10	広報4.15号に条例掲載 内容が難しい点からか意見がでなかったのは残念。	5	建築制限条例は、地区計画の実効性を担保するもので、使える市民参加手法は限定されると思われる。	5	重要案件のはずが取り扱いとしておざなりである。	10	市民の住環境を守る大切なものなので、市民にその趣旨を理解し知らせるためにも、市民の参画する公開された審議会等が必要である。	3		10	パブリックコメントの募集	10	パブリックコメント募集だけでは不十分。	8点
審議会の設置	15																			
パブリックコメント募集	15	15	4.15～30　実施 市民の関心を呼び起こすことが、できなかったことは残念です。	5	広報4.15号にて募集記事 「市地区計画建築物制限条例（素案）へご意見を」となっており、名前が不適切。	15	広報4.15号に条例掲載 0件	15	実施についての情報提供は十分である。	5		5	今回の改定では、「大山口1丁目」と「大山口中木戸公園東地区」が制限される。だが、パブコメには明確に明示されていない。当該地域の住民を含めた市民からの提案がゼロなのは当然。	15	0件の対応	13	パブリックコメントの募集期間15日適切か。市の考え方の公表なし減点2。	15	手法については概ね適切であった。	11点
アンケート調査実施	10																			#####
意見交換会の開催	15																			
ワークショップの開催	10																			
住民投票	－																			
市民への情報提供	15	13	広報4.15号に条例概要掲載 ホームページに掲載	5				14	パブコメ実施についての情報提供は十分に行われているが、資料等の作成が十分かつわかりやすいかは調書では判断しにくい。	15		7	形式的には情報提供しているが、周知するためにどのような方法があるか研究して欲しい。			12	条例化のスケジュール不明確　　減点3	15	適切であった。	12点
特記事項等								条例制定についてのパブコメを実施。事前公表は、情報コーナー、広報紙、ホームページ、各センター・図書館で行い、15日間の提出期間、募集の方法は、郵便・FAX・メール・担当窓口とした。意見はゼロであった。												

事　業　名　:白井市次世代育成支援地域行動計画策定事業　（平成21年度）

総合評価点		○　71点		○　64点		○　64点		○　60点		○　71点		○　69点		○　59点		○　67点		○　55点		64点
コメント		いろいろな手法により、市民の意見を積極的に聴取し、実施計画に反映させるよう、取り組んでいることは評価できる。		過程はほぼ問題はないが、会議録、調査等結果の公表につき問題がある。		比較的会議も多くしている様です。また、若い世代のために、保育を付けたのは良いことです。		調書の記載にばらつきがあり、審議会についての情報提供に消極的。		良好である。よく行っている。		健やかに子供達が育つような方針を決める計画であるが、「パブリックコメント」では市民の意見がゼロであった。 一方、それに反して、児童館を利用しているママ達「子育て支援サークル」との話し合いは効果的であったことは、今後の方向をどうするべきかを示唆している。		長期事業である事から、毎年の計画見直しが必要ではないかと思います。		適切な方法で市民参加の意見などの反映に努めている		概ね適切であったが、会議録公表への取り組みが求められる。		
評価項目	配点	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	
実施した市民参加の方法	20	20	・H21．3．23白井市次世代育成支援対策地域協議会設置 ・H21．1．9～26アンケート調査実施 ・H22．1．1～25パブリックコメント実施	20	①H21年　3月 ②H22年　1月　1日広報意見0 ③H21年　1月　9日済み前年度の調書にあったワークショップの開催が行われていないのは残念。	20	比較的良くやっているが、もっと若い人にも参加して欲しい。	15	アンケートは前年度のH21年1月に実施 配点について、市民参加に対する比重を加味した。	20		20	子育て支援サークル(児童館利用)との意見交換で、これらのサークルが一堂に会する機会を設けるという案は大きな進歩	9		20	審議会設置、パブコメ、アンケート調査実施している アンケート調査は21年1月実施済み 適切に市民の意見の反映に努めている	15	H.21.3「白井市次世代育成支援対策地域協議会」の設置。 H.22.1.1～25にパブリックコメント募集の実施。 他の手法の取り入れも望ましい。	18点
審議会の設置	15	12	・委員15名の内、2割の3名が、公募委員の枠。 ・4回開催、開催時間に配慮、傍聴1名 ・議事録は委員にのみ送付し、市民に公表していないのは、改めるべきである。 ・保育ボランティアをつけ、出席率向上に努めたのは評価できる。	12	会議数6→4回 平成21年　8月　7日、10月　2日 12月　8日、平成22年　2月18日 傍聴者4回で1名は寂しい。	14	比較的多く会議している。 但し、公募委員より委員の出席が悪い。	11	公募委員の募集方法・委員の構成、会議録の公表・方法など記載なし。審議会は5回開催、公募委員3名。 会議録の公表とその方法が記載されないのは、公表していないと判断。	11	会議回数4回	14	委員15名の中で公募枠3名（20%）は低く、最低でも3分の1の5名まで増員すべきである。なぜなら会議の出席率をみると公募委員は92%であるのに、それ以外の事務局選出の委員の出席率は73%と低い。	15		15	公募委員募集枠20%3名。 開催4回、委員出席率68%、公募委員出席率92%。 議事録公表なし。 傍聴者4回で1名のみ。議事録委員に配付、公表なし。意見の反映に努力	10	公募委員3名（委員全体の約20%）。 会議は4回実施。 傍聴者は計1名。 公募委員の応募状況が不明。 傍聴者を増やすことと、会議録の公表に取り組むべき。	13点
パブリックコメント募集	15	15	H22．1．1～25実施、広報しろい H22，1，1号に掲載 広報紙、ホームページのみならず、各センターも活用したのは評価できる。	12	H22年　1月　1日の広報。 意見数0は悲しい限りである。	10	0件は残念です。	15	事前公表は、情報公開コーナー、広報誌、ホームページ、各センターで行い、25日間の提出期間、募集の方法は郵便、FAX、メール、出先機関とした。意見はゼロ。 実施についての情報提供は十分である。	15	広報で掲載されている。	10	意見提出数ゼロというのは、パブコメというやり方が、効果が低いことも検討する必要がありそうだ。	15	0件の対応	15	公開コーナー、広報、HP、各センターで公表。 提出期間25日適切。 意見0であったが、市の考え方を広報、に掲載している。意見の取扱い参加条例に準拠していてよい。	15	H.22.1.1～25に実施し、応募は0件。 手法は概ね適切であった。	14点
アンケート調査実施	10	9	H21．1．9～2．6実施	8	平成21年1月9日～2月6日実施済み 広報での結果公表がない。	10	63.7%の回収率は良いのでは？	9	H21年1月9日実施。特記事項では子育て支援サークルにもアンケート。アンケートの具体的記載がないが、特記事項では積極的な意見聴取がされていることが窺える。	10	20年度評価済	10		10		7	21年1月20年度にて評価済 意見と検討結果の公表は不明　減点3			9点
意見交換会の開催	15																			
ワークショップの開催	10																			
住民投票	－																			
市民への情報提供	15	15	アンケート調査、パブリックコメントに加え各出先センターを利用している子育て支援サークルからも意見聴取。 いろいろな機会を捉え積極的に情報提供し意見聴取に努めているのは、評価できる。	12	広報誌、HP、チラシ等積極的活用。 会議録の公表がないのは、残念。	10	市民への提供なし 比較的会議もしているのに、なぜ広報などに載せないのか？	10	パブコメでは積極的だが、会議公開では記載なし。 審議会の情報提供が不十分	15	各出先・センター児童館や、子育てサークルとの話し合いが持たれた。	15	形式的に情報提供しているが、周知するためにどのような方法がよいか研究して欲しい。	10		10	情報の提供は事前に行われた 告知媒体は適切 審議会の議事録公表無減点5	15	情報公開コーナー、広報、HP等を活用。 適切であった。	12点
特記事項等																				

事　業　名　:健康増進計画策定事業　（平成21年度）

総合評価点		○　74点		○　64点		○　61点		○　69点		○　70点		○　61点		○　59点		○　67点		○　73点		66点
コメント		パブリックコメントを実施したにもかかわらず、市民から意見提出がなかったのは残念ですが、いろいろ努力されていることは評価できる。		企画の案内に関しては、広報誌、HP等を上手く利用。 但し、パブコメの案内はお粗末に尽きる。		健康については、市民も関心を持っていると思う。これからも継続して欲しい。		情報提供は充実している。		良好である。 市民の公募枠を少し増やすべき		市民公募枠の増員は、委員会全体数とバランスから出来ないというが、その前提となる「委員会の全体がどのような構成要素から効率的であり、且つ理想のモデル」である。というなら示して欲しい。		高齢社会への関心をもっと高める必要がある。		審議会、パブリックコメント募集、アンケート調査手法はいずれも概ね良好		適切であった。	
評価項目	配点	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	
実施した市民参加の方法	20	20	・H20．11．20 審議会設置 ・H20．11．14～12．3 アンケート調査実施 ・H22．1．1～25 パブリックコメント実施	20	①H20年11月20日 ②H22年1月1日 ③広報H21年3月1日号結果発表 過程、結果共に問題なし。	20	白井は他市より良いと思う。	15	アンケートはH20年度に実施。 配点について、市民参加に対する比重を加味した。	20		15	現在の委員会全体の年齢構成と性別の割合も言わずに、"増員できない"とか、"無理です"という主張には納得できない。	9		20	実施：審議会、パブリックコメント募集、 アンケート調査 実施事項は概ね適切	20	H.20.11.20「白井健康プラン21」の設置。 H.22.1.1～1.25　パブリックコメント募集の実施。 H.20.11.14～12.3 「健康」アンケート調査の実施。 適切であった。	18点
審議会の設置	15	14	・委員11名の内公募委員2名,3回昼間開催、 ・傍聴者合計4名、ホームページ。情報コーナーで議事録公開 公募委員以外の委員の出席率が低いのが気になる	15	①特に問題なし。 ②3→3案内通り。 ③特に問題なし。	14	公募の出席率100 委員の出席率悪い	14	審議会を3回開催。事前情報の公表、会議公開など十分な情報提供。 情報提供は充実している。	15		11	公募に対する動機が適切であることが、選考ポイントの第一位であるが、動機のなにが重要で、どのような経験が重視されているのか不明で、不明朗な選考が落選者に不愉快・不快を与えている。	15	公募2名は少ない。	15	公募委員枠2名（18%）、選定基準あり。募集：広報、HP、各センター・市役所・保健福祉センターにポスター、情報コーナー 会議：3回開催13：30～15：30、記録公開HP3回、情報公開コーナー3回　傍聴者：計4名 公募委員2名適切か？ 記録公表良	13	公募委員2名（委員全体の約20%） 会議は3回実施。 傍聴者は合計4名。 概ね適切であったが、公募委員以外の出席率が70%を割っているのは如何なものか。	14点
パブリックコメント募集	15	15	・H22．1．1～25実施、広報しろい1月1日号に掲載 ・意見ゼロ 努力されたことは評価できる	6	広報H22年1月1日号にて募集。 パブコメの募集になっていない。	7	具体例を出さないと提出出来ないかも知れません。	15	事前公表は、情報公開コーナー、広報誌、ホームページ、各センターで行い、25日間の提出期間、募集の方法は郵便、FAX、メール、担当課窓口とした。意見はゼロ。実施についての情報提供は十分である。	10	意見は、市民に周知されているのか。	10	検討後に結果を公表すると予告したが、市民の意見数がゼロであるが、そのことを広報紙に掲載する。	15		15	公表事項、公表方法、提出期間3週間いづれも適切 市の検討結果公表不明 回収箱の設置あり：良い	15	H.22.1.1～1.25に実施し、応募は0件。 適切であった。	12点
アンケート調査実施	10	10	・H20．11～12月実施	10	前回で確認済み。 広報H21年3月1日号に結果発表 解説も分かり易く、内容的にも十分である。	8	例年受診している方と、していない方と半分位ずつアンケートして欲しかった。	10	H20年11～12月、2000人に実施、61%回収。調査結果は情報コーナー、広報紙、ホームページで公表。 情報提供は充実	10	上々であった。	10	市民から「活用できる有効なデータや意見」があったというが、なぜ公表できないのか不可思議	10	今後回収率をアップさせる対策が必要	7	2,000人回答1,200人同率61%良 公表：情報コーナー、広報、HP ・結果と市の意見の公表不明減点3 ・活用すべき意見は公表すべき	10	H.20.11.14～12.3に実施し、2,000名対象で1,220通の回答（回収率61.0%） 概ね適切であった。	9点
意見交換会の開催	15																			
ワークショップの開催	10																			
住民投票	－																			
市民への情報提供	15	15	前年度にアンケート結果を広報紙等で公表すると共に、今年度もパブコメを実施 情報提供に努力されていることは評価できる。	13	会議録、アンケートの発表とも十分である。 但し、パブコメの募集内容はお粗末。	12	情報公開コーナーは知らない人も多く、何となく行きづらいので、レースのカーテンなどで庁内の人と顔を会わせないで良い方法とか見やすい様に資料を並べる。	15	審議会、パブコメで積極的な情報提供 情報提供は十分に行われている。	15		15		10		10	実施 事前告知、媒体は適切。	15	情報コーナー、広報、HP等を活用。 適切であった。	13点
特記事項等																				

事　業　名　：　災害時要援護者避難支援プラン策定事業　（平成21年度）

総合評価点		△　46点		△　34点		△　44点		△　32点		×　15点		×　19点		×　24点		△　45点		×　28点		32点
コメント		出来るだけ早く、広報紙等で多くの市民に支援プランの概要を情報提供する必要がある		支援プランだけを切り離して、市民参加し易い形にして市民参加型にして対応すべきである。		先日自治会でも防災訓練をしないのかと市民が質問していた。 参加者が少ないからと答えていたが、以前の市の防災訓練で全自治会と消防署で実施していたときかなりの人数が参加していた。		形式的な市民参加にとどまっている。		見直すべき 市民参加に相当していない。		この事業の目的は「災害が発生した時に市民の避難支援をする。」である。その時に円滑に実施される為にも、審議会等あらゆることを常に市民を積極的に参画・参加させるべきである。		介護高齢者等の身近な問題であるが、知られていない。		会議メンバーの選定基準・構成が不明・意見交換会　参加者数、記録不明。意見とその検討結果公表すべ（条例8条）		市民参加の観点からは極めて不適切であった。	
評価項目	配点	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	
実施した市民参加の方法	20	15	白井市国民保護協議会設置	14	④H21年12月20日に開催 ⑥平成22年2月12日（金）に開催。 1.白井市国民保護協議会　傍聴者2名 2.白井市防災会議　傍聴者3名 協議会は別にして、市民が参加の審議会は最低あるべきではないか。	15	大事な事なので、市民との連携が必要	10	審議会は法律に基づき市国民保護協議会と市防災会議 審議会は形式的に設置。	15		0	市民公募枠を設けていない理由を法律に基づいているとしているが、該当する文言･条文はない。	3		15	22.2.12国民保護協議会（避難救援マニュアル案） 22.2.12防災会議（要援護者支援プラン全体計画案） 21.12.20意見交換会（支援プラン作成の為関係機関の意見確認） 会議等の市民公募要件など不明 要綱によるのかも不明	15	H.21「審議会」（公募枠なし）の設置。 H.21.12.20　意見交換会の開催。 市民参加を組み込んだ他の方法の取り入れが望ましい。	11点
審議会の設置	15	8	・H22．2．12午後、白井市国民保護協議会開催及び同日、白井市防災会議開催 ・傍聴者合計5名、議事録準備中 ・協議会構成メンバーの記載が欲しい			9	情報コーナーを広報にて知らせる。図書館に一箇所場所をつくり公表。	6	県防災会議の組織及び所掌事務に準じて設置のため公募委員なし。市国民保護協議会と市防災会議を各1回、同日に開催。会議録の公開準備中 各審議会の審議時間は45分で、実質的な審議が[illegible]			9	会議は公開されているが、なぜか広報白井には掲載されていない。 また、白井市国民防災会議、白井市国民保護協会の委員は主に公の組織の構成員ではないのか。	6	公募委員0人の理由？	10	・事前公表1月18日（HP、情報コーナー）　・2回46名　傍聴者2回5名 ・会議録あり、公表なし 市民公募枠無し：減点３ 会議録公表準備中：減点２	5	公募枠0 会議開催は1回×2で傍聴者は合計4名。 第6条に基づき市民公募枠を設定すべきである。	8点
パブリックコメント募集	15																			
アンケート調査実施	10																			
意見交換会の開催	15	15	・H21．12．20午前開催 ・ホームページのみで事前公表 多くの団体と意見交換する機会を提供しているのは評価できる	15	H21年12月20日に保険福祉センターにおいて内容は未確認。	13	人数が違うので別の会議ですか？	8	市内自主防災組織、自治会など地域住民組織、民生委員などを対象に1回開催。参加者数、意見交換の時間など記載なし。開催記録の公表なしで、意見交換の内容が市民に分からない。			5	ホームページ掲載、意見交換会の議事録、報告書については記載がないので不明。	15	2団体の相違？	10	事前公表HP（事案：災害時要援護者支援プラン全体計画、国民保護計画避難・支援プラン） 参加対象：市内の関連諸団体、機関 会議録作成・公表不明 減点５	5	H.21.12.20　に開催。 事前公表がHPのみで不十分。	11点
ワークショップの開催	10																			
住民投票	－																			
市民への情報提供	15	8	情報提供が不十分	5	積極的な対応が感じられない。	7	準備中	8	審議会開催の事前公表はホームページ、情報コーナー、意見交換会は開催記録の公表なし 情報提供に対し消極的			5	会議日から年度末迄に約50日もあるのに公表していないのは超スローモーで緊張が欠けている。			10	会議：事前公開（HP、情報濃―マー） 意見交換会：記録、公表など不明（作成、公表すべし　減点５	3	事前、事後ともほとんど取り組みなし。 極めて不十分。	7点
特記事項等																				

事　業　名　:白井市耐震改修促進計画策定事業 （平成21年度）

総合評価点		△ 40点		× 27点		△ 40点		△ 32点		× 10点		△ 30点		× 18点		△ 40点		△ 40点		31点
コメント		・パブコメの結果は、意見提出ゼロで残念でしたが、わかりやすい内容で、努力は感じられる。 ・公聴会等を開催すれば、なお、良かったと思う。		パブコメだけでなく、素案が出来た時点で意見交換会は行って欲しかった。		今年は地震が多かった様に思えるので、普段からの注意を促す。				市民参加になっていない。 市民の意見をきくつもりがない。		地震より市民を守る大切な計画であり、市民にその趣旨を知らせることが重要です。 同時に、白井市では、「耐震化率」が遅れている民間特定建築物（58%）の耐震化を早急に進めねばならない。				パブリックコメント募集方法良い。 意見0にも拘らず市の検討結果公表は参加条例に適い良かった		まだ取り組みが不十分で、他の方法の取り入れも望ましい。		
評価項目	配点	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	
実施した市民参加の方法	20	10	H22．3．1～15 パブリックコメント実施	7	②広報紙：H22.3.1号　意見0 《「地震被害を最小限に」皆さんのご意見を》となっており、名前が不適切。	15	大事な事なので常時やっていきたい。	3	計画素案についてパブコメ実施。	10	形式的に行った様である。	10	耐震化を早急に進めなければならない。 それには、市民の意見を聴視し公的な考えに反映しながら、計画を策定するためにも市民の参画・参加が必要	3		10	パブリックコメント募集	10	H.22.3.1～15にパブリックコメント募集の実施。 他の方法の取り入れも望ましい。	9点
審議会の設置	15																			
パブリックコメント募集	15	15	・広報紙しろいH22．3．1号に掲載 ホームページ、情報コーナー、各センターで、公表 ・意見ゼロ	10	広報紙：H22.3.1号　意見0 名前が不適切。	15	ホームページ5/1日号	15	事前公表は、情報公開コーナー、広報誌、ホームページ、各センターで行い、15日間の提出期間、募集の方法は郵便、FAX、メール、各センター、担当窓口とした。意見はゼロであった。 実施についての情報提供は十分である。			10	応募の意見件数は記載がない。	15		15	・募集：情報コーナー、HP、広報、各センター・提出期間22.3.1～15、提出方法記載、 意見0件。 市の検討結果とその理由公表：HP、広報 ・募集期間は最低3週間ぐらい必要では ・意見0にも拘らず市の検討結果公表は良い	15	H.22.3.1～15に実施し、応募は0件。 手法は概ね適切であった。	14点
アンケート調査実施	10																			
意見交換会の開催	15																			
ワークショップの開催	10																			
住民投票	－																			
市民への情報提供	15	15	・広報紙、その他で情報提供している ・パブコメの結果も広報紙 22．5．1号に掲載 紙面も大きく、わかり易く情報提供している。	10	パブコメに関しては、情報提供の姿勢は見られるが、意見0では如何とも仕難し。	10	市でも広報をPCで見る方法などPCの無料講習をやって欲しい。	14	上記のとおり パブコメ実施についての情報提供は十分に行われているが、資料等作成が十分かつ分かりやすいかは、調書では判断しにくい。			10				15	パブリックコメント募集は市民情報提供は適切 パブリックコメント募集方法良い。 意見0にも拘らず市の検討結果公表は参加条例に適い良かった	15	情報コーナー、広報、HP等を活用。 適切であった。	13点
特記事項等																				

事　業　名　：　白井市第4次総合計画後期基本計画策定事業　（平成21年度）

総合評価点		○　70点		○　74点		○　71点		○　75点		○　60点		○　70点		○　80点		○　87点		○　70点		73点
コメント		事前説明会を含め市民への情報提供、参加機会が積極的になされたことは、大いに評価できる。		これまでの最高点である。やっていることに関しては、ほぼ完全である。パブコメも満点を目指して欲しい。		ワークショップをたくさんして、市民の意見をよく聞いている。但し、アンケート結果も照らしあわせて考えて欲しい。		充実した市民参加を行っている。		良好 平均より上		審議会の委員15名全員が男性に偏っている。 事務局はこの形はバランスよい形であると考えているようであるが、条例を改正しても女性委員4～5名を別枠でも考慮すべきでないか。		将来の白井市についての方向性があるので重要な事業であると思います。		意見交換会とワークショップは重複あり、市民感覚では同じと殆ど同様と考えているのでは。		適切であった。	
評価項目	配点	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	
実施した市民参加の方法	20	20	・H19．11総合計画審議会設置 ・H21．6．20～7．7実施 ・H21．9．26～27　3つのセンターで実施	20	①H20年　4月設置 ③H21年10月1日広報結果発表 ⑤H22年2月7日に実施 ⑥まちづくり講演会　9月20日（日） 町造りの基本として、広報ではトップ記事として扱われており、量的にも十分である。	18		20	審議会、ワークショップのほか、まちづくり講演会を実施。パブコメは22年8月実施予定。 パブコメを8月に予定ということ、加点。その他参加方法の講演会は参加者数が記載なし。	20		20	女性委員を評価委員数の3割以上としていたが、夜間会議のためか、実際は応募枠は男性10名に対して女性をゼロで、その上年齢別も60歳以上が8割を占めていた。	15		20	審議会、パブリックコメント、ワークショップと併せて、住民意識調査、人口推計、財政推計、行政水準比較調査、まちづくり講演会開催実施 第4次総合計画・後期基本計画策定のため考えられる多くの手法が行われた。	20	H.20.4に「総合計画審議会」の設置。 H.21.6.20～7.7にアンケート調査の実施。 H.21.9～H.22.2にワークショップの開催。 H.21.9.20にまちづくり講演会開催。 適切である。	19点
審議会の設置	15	15	・委員15名の内5名公募委員　（市民5名、学識経験者5名、諸団体の代表者5名） ・応募者10名の内5名選定 ・4回、夜間開催、傍聴合計4名	14	①女性0は残念。 ②4回/年、2H/回は妥当なところ。③傍聴者が少ないものの、公開は十分。 女性0が、気になるが、他に問題はなし。	15	NT地域外の方にも市政に参加して欲しい。	15	審議会を4回実施。 開催時間は夜間にするなど、参加しやすいように工夫している。	15		15	会議の出席率は、公募委員90%に対して、事務局選出の委員は、70%と低調なのは選出に問題があるのではないか。	15	公募委員が0人はバランスが取れていない。	15	要件を必要十分に実施した	15	公募委員5名（委員全体の30%）。 会議開催は4回で、傍聴者は合計4名。 適切である。	15点
パブリックコメント募集	15		・H22．8．1～3週間程度募集予定	5	H21年10月1日広報に事前予告。 前もって、予告しておくことは良い。	7	これからの取り組む姿勢は評価できる。	5	22年8月に実施予定 実施予定で5点の評価点を加える。	15				15	0件の対応	12	・いずいれの要件も実施されている。 ・検討結果公表　22年10月予定されている ・提供コメント、数内容不明　減点3 ・提出期間3週間は適切である			10点
アンケート調査実施	10	10	・H21．6．20～7．7第12回住民意識調査実施、対象：白井市在住18歳 以上男女2，500人、回収率54．3% ・H21．10．1広報紙等へ第12回　住民意識調査報告書を掲載 調査結果は解かりやすかった	10	H21年　6月20日　～H21年　7月　7日 公報日：H21年10月　1日	10	主な取り組み52のうち、鉄道運賃問題提起がダントツ1位	10	18歳以上2500人に調査、回収率54.3%。調査報告書は情報コーナー、広報紙、ホームページに公表。			10	前回調査から、引き続き満足度が低い施策の住民意識の変化を知りたいものだ。	10	回収率アップさせる。	10	・第12回住民意識調査実施2,500人　回収1,358人（54%）調査期間　17日間　・報告書あり、公表：広報、情報コーナー、HP 結果の整理状況と市の対応は今後	10	H.22.3.1～15に「住民意識調査」をし、2,500名中1,358通の回収（回収率54.3%）。 適切であった。	10点
意見交換会の開催	15															8	評価点8とした。 ワークショップと内容1部重複し類似している			8点
ワークショップの開催	10	10	・分野別ワークショップ3回開催　参加者数合計205名（うち市民85名） ・広報紙H22．1．15号に第1回、2回の主な意見掲載市民の関心も高く、盛況であったことは評価できる。	10	H21年9月～H22年2月4回開催 事前案内は十分、出席者の数も多い。	9	開催場所が他のところでもあると良い。 意見交換会との違いがわからない。	10	分野別ワークショップを3回開催。参加市民数は各回27～30名。記録は広報紙、ホームページに公表。	10		10	発言は自由奔放にされていたと評価されていたが。	10	直接対話が出来意見がさせる。	7	・4回開催　・市民公募　・事前公表：公開コーナー、HP、広報 ・参加人数不明　・記録作成、公表されていない 減点3	10	H.21.9.26～27に事前説明会。10.18～H.22.2.7に3回（205名参加うち市民85名）。 H.21.9.20にまちづくり講演会の開催。 適切である。	10点
住民投票	－																			
市民への情報提供	15	15	関係資料も沢山提供され、市民の関心を 喚起したのは評価できる	15	①積極的に提供②事前告知③告知媒体も適切ですべて十分である。	12	広報が一番見ているのでは。	15	事前公表、審議会、アンケート、ワークショップの記録公表		不十分である。	15		15	講演会	15	公表：情報コーナー、HP、広報チラシ等 地域を元気づける協働のまちづくりに向けて　まちづくり講演会開催（講師：川北秀人）	15	情報公開コーナー、広報、HP等を活用。 適切であった。	15点
特記事項等																				

事　業　名　：　男女共同参画推進行動計画策定事業　（平成21年度）

総合評価点		△　41点		△　53点		△　35点		△　38点		△　40点		△　45点		△　31点		○　68点		○　55点		45点
コメント		アンケート調査結果を公表すると共に、行動計画案に対するパブコメを予定の通り実施してください		意識革命の必要な分野である。地道な努力を要するが、最も卑劣なDVに集中して施策展開して欲しい。		市民に公表する姿勢に欠けている。		情報提供に問題が多い。		改善が必要。 男女共同参画の意味が良く周知されていないのでは		事業の目的が「男性女性も関係なく、責任を持つ社会の実現」と言っている割には、男女別の「委員任命確定率」を見ると、男性25%、女性83%になっている。このようなことを解消し、まず平等と構成を守ることを始めて欲しい。		参加しやすい内容及びサポート体制を充実させていく事が必要と思われます。		アンケート調査を一般市民と在勤者に分けて実施したのは良いが回収率がやや不足。結果とその検討結果の公表がまだない（公表予定不明確）		概ね適切であった。パブリックコメントの実施を待ちたい。		
評価項目	配点	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	
実施した市民参加の方法	20	15	・H20．1．22男女共同参画推進懇談会設置（H12年から設置、任期2年） ・パブコメはH22．10実施予定 ・アンケート調査　H21．8．28～9．14実施 パブコメは予定の通り実施下さい	20	①H22年3月15日号の広報にて 22年度の男女共同参画推進懇談会委員募集 ③H21年8月15日号で調査協力依頼の記事 ⑥啓蒙誌「ステップ」を発行。ステップの内容はナカナカは濃い。	8		10	推進懇談会設置、アンケート実施	15		10		6		20	・男女共同参画推進懇談会設置20.1.22（H12年度から設置任期2年） ・パブリックコメント22・10.15募集予定 ・アンケート調査（21.8.28） パブコメ　予定事業22年度内予定のため市民参加方法の1つと数えた。	15	H.20.1.22に「男女共同参画推進懇談会」の設置。 H.21.8.28～9.14に「男女共同参画に関する住民意識調査」の実施。 概ね適切。	13点
審議会の設置	15	13	・広報紙H22．3．15号及びホームページ、各センターに掲載 ・応募者10名の内6名選定 ・2回平日昼間開催、傍聴者合計3名 出席率が良くないので、開催日時を工夫してください	13	①男性1人は少ないのでは？ ②4→2(21年度実績) ③実施の2回は傍聴者あり。会議も公開。 まず無難なところ。	12	公募者が増えている様です。 構成年齢など良いと思います。 但し会議が二回では少なく出席率も悪い。	11	懇談会2回実施。 会議録の公表について記載なし。情報提供に問題	15		15	応募者総数10名（うち女性6名）があり、その中から70歳代は4名中3名が選考から除外されているのも問題。	15		15	・公募の方法：広報、HP、情報コーナー、各センター・公募枠あり6名（応募10名） ・委員14名・開催事前公表：HPと情報コーナー（21年6・8）2回開催・傍聴者あり ・ 会議録公表（情報コーナー2回） 市民参加要件を概ね実施されている	15	公募委員6名（委員全体の約40%）。 会議開催は2回で、傍聴者は合計3名。 概ね適切だが、傍聴者を増やす努力が必要。	14点
パブリックコメント募集	15															15	未実施（予定22年10月） 実施予定あり評価点15			15点
アンケート調査実施	10	6	・H21．8．28～9．14、市民2000人、市内企業在勤者500人を対象に実施 回収率は低いが、分析結果の公表をすべきである	8	広報H21年8月15日号に男女共同参画に関する住民意識調査の協力依頼 結果発表が不分明。ステップで速報版？	8	一般市民49.5%、在勤者36.4% 回収率が低い。 公表はどのような形で行われたのか。	10	住民意識調査を市民、在勤者に分けて実施。 市民は2000件、回収率49.5%、在勤者は500件、回収率36.4%。 対象を分けて実施するなど、工夫されている。調査報告の公表は不明、問題あり。	10	公表方法は不十分	5	アンケート調査については、記載されていないのは残念	10	回収率をアップさせる。	8	住民意識調査 ・市民用（2,000回収49.5%と在勤者用500回収36.4%に分けて調査期間17日間で実施。 ・公表広報（21.815） 市民参加手法概ね良い。 アンケート意見の市の検討結果内容の公表は22年度か？ 公表予定を記載すべきだ。減点2とした。	10	H.21.8.28に実施し、市民2,000名中49.5%、 在勤者500名中36.4%の回収率。 概ね適切。	8点
意見交換会の開催	15																			
ワークショップの開催	10																			
住民投票	－																			
市民への情報提供	15	7	アンケート調査結果等の情報提供がなされていないのは遺憾である	12	調査の結果の発表が気になるが、ステップが情報提供の補助手段になっている。	7	アンケートや会議内容を条項公開コーナーのみに掲載	7	会議録の公表、アンケート結果の公表について記載なし。 情報提供に問題多い。			15				10	概ね情報提供要件　良。 アンケートの市の検討結果公表予定不明　減点5	15	情報公開コーナー、広報、HP等を活用。 概ね適切であった。	10点
特記事項等																				